



# GREEN BREEZE

軽井沢観光協会広報誌



軽井沢エコツーリズム発足  
「信濃路自然遊歩道」



## Contents

- 1 対談“標高 1000m のウェルネスリゾートで  
体感するワークスタイル” …… 2p
- 2 観光協会活動報告 …… 4p
  - ドッグツーリズム推進プロジェクト
  - 三義郷「文化教育観光連携覚書」締結
  - 花蓮県地震義援金
  - 各種マップなどの発行物紹介
  - ウェルネス対談番組の案内
  - 軽井沢高原花いっぱい運動
- 3 Ruiza ちゃん取材日記 …… 6p
  - 軽井沢ハーフマラソン 2018
  - 第 9 回 グランフォンド軽井沢
  - 第 17 回 ジーロ・デ・軽井沢
- 4 観光協会からのお知らせ …… 7p
  - 第 4 回 軽井沢 WEB 検定に向けて
  - 軽井沢写真コンテスト～作品募集～
  - 事務局員の紹介
- 5 軽井沢 Topics …… 8p
  - G20 関係閣僚会合 軽井沢開催
  - 軽井沢・冬ものがたり お知らせ



「雲場池」リニューアルオープン  
より美しく、綺麗に生まれ変わりました!





# Special Interview

## 1 標高1000mのウェルネスリゾートで体感するワークスタイル(ビジネス市場の開拓) 【対談】

今日、ライフスタイルの多様化に伴い、生活や仕事環境が変化しています。軽井沢町では「国際リゾート会議都市」を目指し、来年は「G20 関係閣僚会議」の開催も予定されています。これら国際会議も然り、セミナーや研究会など小規模単位のビジネス需要に応えることは、知的な地域イメージの拡散と滞在による地域消費型モデルとして期待されています。

軽井沢の新たな市場として、ビジネス客獲得があります。特に、自社と異なるリゾート地でのワークは、通勤がなく仕事効率も期待できることから、“働き方改革”の中でも注目されています。

今回、総務省の箕浦龍一氏に、国の指針や国内外の動きと軽井沢におけるテレワークの期待などについてお聞きしました。

箕浦龍一氏 (総務省行政管理局企画調整課長) 右  
土屋芳春 (一般社団法人軽井沢観光協会会長) 左

(文中敬称は略させていただきます。)



▲総務省にて対談日(2018年7月15日)

### 【働き方改革とテレワーク】

**(土屋)** 国では「働き方改革」が重要課題とされています。日本の現状に照らして「働き方改革」が目指すものは何でしょうか。また、その中でテレワークに期待される役割はどういうものでしょうか。

**(箕浦)** 我が国の急速な少子化と生産年齢人口の減少の中で、多くの企業や組織は、人材確保が非常に難しくなっています。今後の持続的な成長のためには、生産性や質の高い業務環境を実現する必要があります。出産、育児、介護などの家庭の事情や個人の生活・価値観とも調和できる「働き方」を実現しなければ採用もできず、優秀な人材も去りかねません。

今後の「働き方」を考える上で重要な要素の一つは、ICTの進展による「働く場所」概念の抜本的な転換です。昭和の時代には、仕事に必要な資料や電話・FAXなどのツールを集約した機能的な拠点としてのオフィスが必要でした。しかし最近、先進的な一部企業では「社」にいることを前提としない勤務制度に移行する会社や「社屋」自体を持たな

い会社も出てきています。外出・移動中や海外からでも仕事ができるモビリティの高い働き方が実現しています。組織やワーカーにとって「働く場所」の本質は変わりつつあります。夏の暑い日に満員電車で出勤すれば、出社までに疲労困憊して生産性もあがりません。今後は、働きやすい(働きたい)場所で仕事をし、住みやすい(住みたい)場所に住むというのが一つの理想ではないでしょうか。出社せずに仕事をする「テレワーク」はその第一歩です。

### 【各地の取り組み】

**(土屋)** 仕事効率を上げるという面ではテレワークは有効な手段と理解していますが、全国的な動きはいかがですか。

**(箕浦)** 7月23日～27日の5日間、政府や東京都などが連携し、全国の多くの企業・団体が参加する「テレワーク・デイズ」の取組を展開します。2020年東京五輪の際の首都圏混雑緩和対策も視野に入れていきます。

一方で、全国では徳島県神山町のサテライト・オフィスや和歌山県の南紀白浜のワーケーションなどの先進的な取組をモデルに、他の多くの地域で、地域振興・活性化の選択肢の一つとしてテレワークが注目されています。

首都圏では、一部IT企業や鉄道事業社の取組として、鉄道沿線や拠点駅にサテライト・オフィスやテレワークブースを設置する試みが始まっています。ICTを利用してモバイルワークをするワーカーは、既にビジネスのターゲットになっています。

### 【軽井沢の潜在力(気候・地域資源・素材)+ワーク】

**(土屋)** 私どもは観光ビジョン「美しい村(心身ともに美しい、健康的なリゾートスタイルを提供する)」を掲げ、ウェルネス

リゾートを推進しています。ワーカーにとって豊かな自然の中で休息しながら仕事時間も確保するには最良の場所だと自負しています。

**(箕浦)** 標高1000メートルの高原に位置する軽井沢は、明治以降地理や環境的に優位性を持つ「避暑地」「高級リゾート地」として発展しました。四季を通じた様々な魅力溢れる自然・環境・風土・質の高い文化・豊かな観光資源・魅力的な地域人脈、すべてがハイクオリティで固有のブランド価値を与えています。

単なるリゾート地ではなくビジネスの適地としても大きなポテンシャルがあると思います。

**(土屋)** 軽井沢は様々なアクティビティが整い、リゾート・ワークやアフターに相応しい環境です。

**(箕浦)** 軽井沢には、魅力的なお店のほか美術館や博物館、カーリングなどのスポーツ施設や大賀ホールなどの優れた施設が充実しています。

これらの施設は、単なるテレワーク後のアフタースポットではなく、イベントやセミナーなどビジネスの適地にもなりえますし、カーリング施設は企業の研修など「チームビルディング」にも活用できます。

東京から約一時間圏内に、これだけ様々な要素が既存のものとして揃っているのは非常に有利な条件だと思います。

### 【人脈とネットワークが軽井沢ワークに付加価値を付ける】

**(土屋)** 軽井沢は別荘開発130年を超える歴史があり、独特な別荘等コミュニティがあります。中にはその分野の専門家や若い年代層グループもあり、ワーカーにとっても新たなネットワークづくりに参加できる環境が整っています。

**(箕浦)** 軽井沢には、政治家や大学教授・経営者・作家・芸術家など幅広い層が別荘などで過ごされ、各大学のOB会組織などの人的ネットワークもあると伺っており、これは間違いなく軽井沢の強みです。

最近では、若い世代が業種横断的な勉強会や研究会を通じて共同でビジネスやプロジェクトを行う動きも盛んです。そういう取組と軽井沢が繋がれば、町の発展にとどまらず「軽井沢が日本を動かしていく」可能性もあると思います。

### 【軽井沢におけるテレワークへの期待と課題】

**(土屋)** 今年から有志が4回ほどテレワークの実証を行ってきました。課長にも協力と参加をいただきましたが。

### 【テレワークとは】

情報通信技術 (ICT = Information and Communication Technology) を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。働く場所によって、自宅利用型テレワーク (在宅勤務) モバイルワーク、施設利用型テレワーク (サテライトオフィス勤務など) の3つ分けられる。(日本テレワーク協会HPより)

**(箕浦)** これまでのイベントには、軽井沢町や長野県など多くの地元関係者も参加され、地元の熱意も十分に伝わりました。首都圏の参加企業からも、軽井沢の魅力を改めて感じたとの声がかかれています。

ただ、この取組を一過性のものとせず「ビジネスの場」としての軽井沢のイメージを定着させ、継続的に足を運んでいただくためにはまだ課題もあります。「魅力的な場所」というだけでは人は集まりません。個人客ならともかく、ある程度まとまった人数を誘致するには「ビジネスの機会」「共創の場」に人や企業が集うという要素が必要です。また、認知度も低いですから、首都圏を中心に広報・営業活動を展開する必要もあります。

今回設立された「軽井沢リゾートテレワーク協会」の主要課題の一つだと思います。

**(土屋)** テレワークの推進は、新たな軽井沢観光活性化と地域発展の機会を創出するとともに、MICE 誘客やサテライト・オフィス、コワーキングスペース等整備促進も図れると考えています。軽井沢の可能性はいかがでしょうか。

**(箕浦)** 「軽井沢でのビジネスの機会に企業や人が集う」という方向性は、MICE 誘客という従来の町のコンセプトにも通じると思います。

将来的にはサテライトワークスペースの整備なども必要かも知れませんが、実は軽井沢には、中軽井沢や追分も含め現在も利用可能なテレワークの潜在的適地がありますから、町全体の効果的な活性化のためには、まずは既存施設の有効活用を考えるべきでしょう。

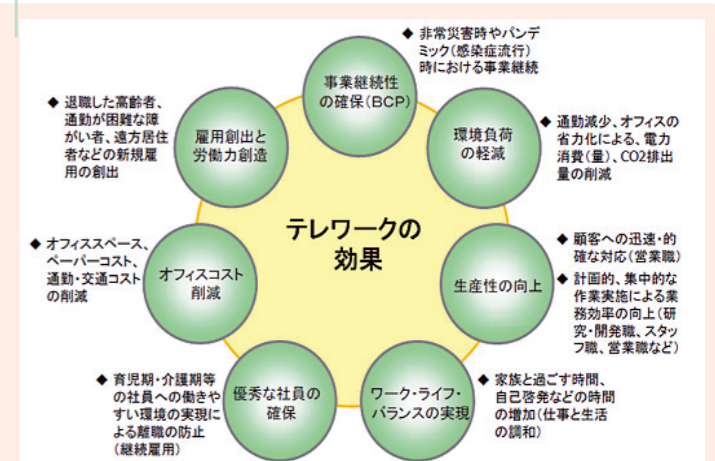
軽井沢がこれまで培ってきた風土や文化、既存の施設などの貴重な資産を十分に活用しながら、その上に軽井沢にふさわしい新しいものが加われば、リゾートテレワークを通じて良い方向に観光活性化や地域発展が進むと思います。

### 【箕浦龍一氏】(総務省行政管理局企画調整課長)

1966年東京生まれ。1991年総理府入庁。沖縄開発庁、福井県警、総務省人事・恩給局、総務大臣秘書官、内閣総務官室などを経て、現職。

氏が先導した総務省の先進的なオフィスに連日訪れる全国の自治体や企業からの視察は、既に3000人を超える。

多彩な趣味の中でも“カレー愛”は突出(総務省カレー部長)。



# 観光協会活動報告

## ドッグツーリズム推進プロジェクト

4年前から「ウェルネスリゾート軽井沢」の一環として、取り組んできたドッグツーリズム推進プロジェクトは、昨年引き続き長野県の「地域発 元気づくり支援金」の採択事業となりました。

昨年度はこの元気づくり支援金を活用し、町内の犬関係施設をまとめた「軽井沢MAP with DOG」を作成しました。

2017年度の活動ポイントは、ピクトグラム(案内サイン)の導入・マップ・店舗ステッカーやウェブサイト(スマホ&PC)を共通のデザインにしました。これらを町内の120以上の施設で共有して、軽井沢を訪れる皆さんがわかりやすく利用できるようになりました。

観光客の皆さんや在住の方々大変好評を頂きましたので、2018年度版を8月にリリースしようと準備中です。

本活動と並行して、プロジェクトへの参加店舗も増えてきました。軽井沢でワンちゃんと一緒に生活(時間を過ごす)する楽しさを、多くの方々に満喫してもらえるよう願っています。

本年度はこの活動自体を更に多くの方々に認知、ご理解をいただくためにテレビCMやラジオ番組、ポスターなどメディアを活用した積極的な広報活動もあわせて展開します。どうぞご注目ください。

事業委員会 / 西山 紀子



マップ表紙

参加店舗ステッカー



ワンちゃんとの同伴、キャリーバックに入れればOK



ワンちゃんとの同伴、テラスのみご利用可能

## 三義郷「文化教育観光連携覚書」締結

2018年6月20日(水)、台湾苗栗縣三義郷と軽井沢観光協会が「文化教育観光連携覚書」を締結しました。

三義郷と観光・文化施設・鉄道・名産品・ウェディング等幅広い分野で連携をとり、交流を図っているため覚書を結びました。

今後、多くの会員の皆さまの助力なしでは成り立ちませんので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



▲6.20 締結式 (左:土屋会長、右:徐三義郷長)



▲7.1 三義郷レイルバイクオープニングセレモニー  
(左1人目:荻原委員長、左3人目:しなの鉄道玉木社長、左4人目:徐苗栗縣知事、右1人目:徐三義郷長)

## 花蓮県地震義援金

2011年(平成23年)に発生した東日本大震災の際には、台湾政府から28億円、その他民間等から225億円合計253億円に及ぶ義援金を頂きました。

当協会は、その支援に対する感謝の気持ち並びに日台友好関係から2月に台湾東部地方を震源とする花蓮県地震に対して義援金を募り、直接届けて参りました。

ただ、本当の意味での復興のためには、皆様に現地に遊びに行ってもらいたいです。



▲2.15 軽井沢駅にて、2市1町(富岡市、安中市、軽井沢町) イベントブースでの、募金活動

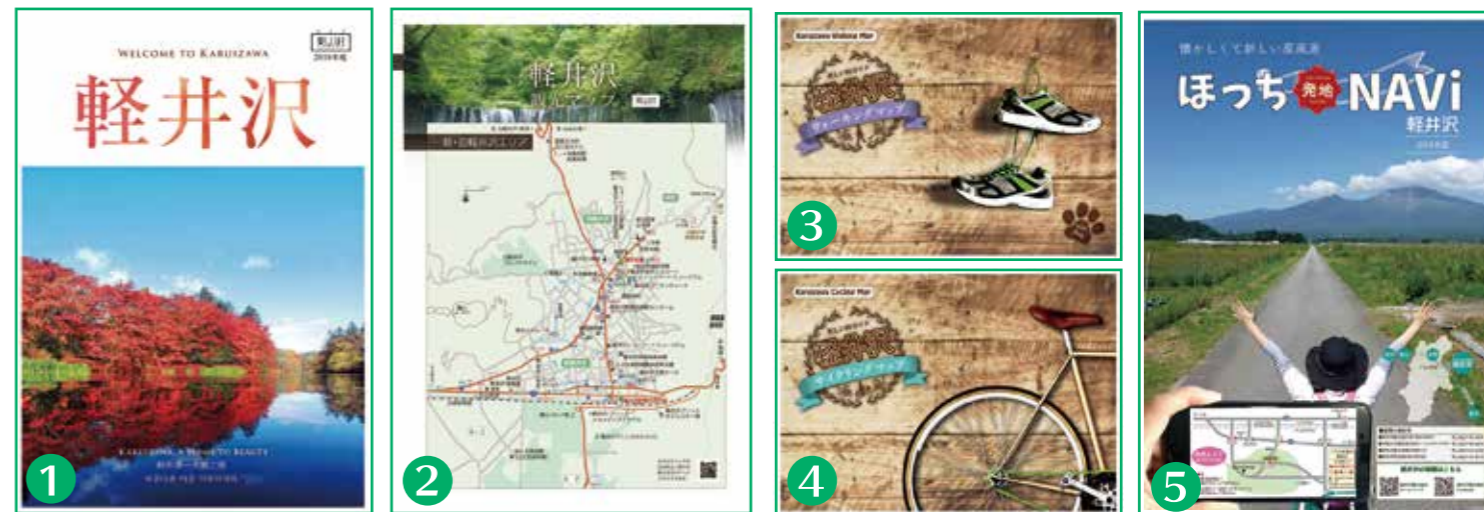


▲6.29 花蓮県に直接義援金を届けました。  
左:荻原委員長、右:陳花蓮縣政府社會處副處長

多くの募金をありがとうございました。お陰様で現地に届けることができました。

誘客企画委員会 / 荻原 代志智

## 2018年度 観光パンフレットのご紹介



広報委員会では、目的に応じてご利用いただける観光パンフレットや観光マップを作成しております。

①「軽井沢総合観光パンフレット」②「町内広域マップ(A3版)」③「ウォーキングマップ」④「サイクリングマップ」そして今年度新たに発行した⑤「ほっちNAVi(発地エリア周遊マップ)」の5種類です。インバウンドの方のために外国語版(英語・繁体字・簡体字・タイ語)もご用意しておりますので、ぜひ観光協会員の企業・施設にも設置し、多くの方にご利用いただけると幸いです。

観光協会事務局にご用意しておりますのでお問い合わせください。

HPからもダウンロードできます。 <https://karuizawa-kankokyokai.jp/digital/2165/>



広報委員会

## 軽井沢ウェルネス番組

土屋会長が「標高1000mのウェルネスリゾート」に素敵なお客様をお迎えして、ウェルネス談義をお届けするラジオ特別番組企画「ウェルネスリゾート軽井沢」は、2017年度から現在までに3回放送いたしました。

①東急リゾートサービス様 ②東急シェアリング様 ③しなの鉄道様  
これまで放送した番組は「軽井沢観光協会公式 YouTubeチャンネル」

でいつでも聞けますので、ぜひお聴きください。

<https://www.youtube.com/user/KaruizawaKankokyokai>



広報委員会 / 布川 洋平

## 軽井沢高原花いっぱい運動

「軽井沢高原を美しくする会」の一環で清潔な観光地づくりを推進するため、沿道や建物周辺等に植栽をして、軽井沢高原らしい癒しの空間を作ることを目標に美化活動を展開しています。

6月通常配布の苗(ブルーサルビア、ケイトウ)以外に、今年は観光協会のみ試験的に球根(春植え<ダリア、グラジオラス>)、秋植え<チューリップ予定>)を追加いただき、鉢植えと地植えで華やかな植栽になりました。

観光会館の庭の苗木名を観光客にわかりやすくするために、ネームプレートをつけました。半日陰の観光会館には多くの山野草も咲いていて、園芸種とうまくコラボして軽井沢らしさを演出しています。



▲軽井沢町観光振興センター前



▲軽井沢観光会館前

未来構想委員会 / 滝沢 信子



## 『軽井沢ハーフマラソン2018』 過去最多5956人出場!!

5月20日「軽井沢ハーフマラソン2018(第33回ロードレースin軽井沢)」が県内外からハーフの部5449人、ファミリーペアの部230組が出走し、ゲストにプロランニングコーチの金哲彦さん、ゲストランナーに嶋原清子さん、TOKYO GIRLS RUNのメンバーをお迎えし開催されました。今大会も好天に恵まれ新緑の軽井沢を駆け抜けました。

当協会ではUWC ISAK JAPANの生徒たちやボランティアの方々の協力を得て、中間地点過ぎの湯川ふるさと公園でランナーに果物サービスをさせていただきました。町内施設の「ランナー&ボランティアへの特典サービス」も定着し好評でした。この大会はボランティアや町民のおもてなしの精神に支えられています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



▲写真提供:「軽井沢ハーフマラソン大会事務局」

## 第9回『グランfond軽井沢』



例年より早く訪れた新緑の中、5月12日(土)・13日(日)に「グランfond軽井沢」が開催されました。

1日目はすっかり恒例となった、町内でグルメを楽しむ「ザ・グルメfond」「ザ・タンDEM fond」。2日目は、浅間山麓を一周する「グランfond2400」「グランfond2000」の2つの本格山岳ロングライドが行われました。2日目は今年大きくコース変更を行い「ショート」のカテゴリーが新たに追加され、自身のレベルに合わせたコース選択が可能になりました。

姉妹大会の「グランfond姫恋」、アニメ・コミック・キャラクターファンのためのサイクルイベント「グランfondKOMORO」も同様の2コースで同時開催され、1700名を超える参加者が集まりました。

全国屈指の難コースである「グランfond軽井沢」ですが、実は完走率が94%です。大会事務局にその理由を聞いてみると「距離や累積獲得標高だけでは測れない、絶妙なコースバランスによるものなのではないでしょうか。」

毎年参加者の皆さまや関係各所からご意見をいただきながら、大会の運営について改善とチャレンジを試み、来年に向けてすでに準備も始まっています。

## 第17回 ジーロ・デ・軽井沢

新緑の軽井沢を彩るヒストリックカーによるタイムラリー、第17回ジーロ・デ・軽井沢が5月26日、27日開催されました。エントラントは浅間山麓周辺に設定された300キロにも及ぶルートを愛車で走るのを愉しみに、また同じクルマ趣味の仲間と再会するのを楽しみに参加します。スタート地点のエルツおもちゃ博物館(1日目)や軽井沢発地市庭(2日目)には、古きよき時代のクルマを一目見ようと大勢のギャラリーも集まりました。両日とも初夏の陽気に恵まれ、軽井沢の小旅行と名づけられた特別な2日間を過ごしました。



7月の西日本豪雨災害により、被災された方々へお見舞い申し上げます  
軽井沢観光協会では募金箱を設置しております  
多くの皆様のご支援ご協力をお願いします

## 第4回 軽井沢WEB検定に向けて

軽井沢観光協会は、2019年2月に軽井沢WEB検定を行います。

今年は、1級資格者用にオリジナルの「軽井沢彫り1級バッジ」を制作しました。また、資格保持者がいる施設には「軽井沢WEB検定有資格者所属施設プレート」をご用意しています。

自分が住んでいる街や働いている街に愛着と誇りを持って、その気持ちを多くの人に伝えてほしいと思います。

軽井沢WEB検定は、軽井沢のことを学び、軽井沢を訪れる観光客や、未来を担う子供たちにその魅力を伝えていただくためのものでもあります。この検定にぜひチャレンジして、軽井沢の歴史や文化、自然環境や観光名所などを総合的に学ぶことで、軽井沢の魅力を発信していきましょう。



▲軽井沢彫り1級バッジ



▲資格者所属施設プレート

組織強化委員会 / 高見 康昭

## 2018 軽井沢写真コンテスト ～作品募集～



四季折々の美しい風景、または軽井沢を楽しむ人々の心温まる風景やイベントの様子

①風景部門 ②人々/イベント部門

※軽井沢町内で撮影した写真に限ります

※2019年3月に中軽井沢駅くつかけテラス 1Fにて作品展開催予定

〈応募詳細〉

軽井沢観光協会ホームページをご覧ください



<https://karuizawa-kankokyokai.jp/2541/>

## 観光協会事務局員のご紹介

中里勝雄 (事務局長)

このたび、新しく事務局長に就任しました中里と申します。軽井沢町の観光産業も目まぐるしく変化しておりますが、さらなる振興を目指して、職員とともに「おもてなし」の精神で努力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



上原泰子 (観光会館)

観光会館でお世話になって1年になります。永年軽井沢に住んで居ながら、知らない事が多く勉強になります。いつもお客様に気持ち良く過ごして頂ける様に心掛けております。

野口清香 (観光会館)

軽井沢に滞在される方が、心地良くまた存分に軽井沢を堪能されるお手伝いが少しでもできるよう、日々精進していきたいと思っています。ドイツ語と英語でご案内できます。

山本恵莉 (観光案内所)

3月から軽井沢駅と中軽井沢駅の観光案内所で働いております山本と申します。軽井沢に旅行に来られる方に、少しでもお役に立てればうれしいです。よろしくお願ひいたします。英語と中国語でご案内できます。

## 2019年6月15日・16日 G20 関係閣僚会合 軽井沢開催!

来年初めて日本で開催されるG20サミットに伴う関係閣僚会合のうち「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」が軽井沢町で開催されます。

【G20とは】

20カ国・地域が参加する国際会議の枠組み。2019年は、大阪での首脳会議のほかに8つの関係閣僚会合が国内で開催されます。

## 軽井沢発地市庭前通りの名称が決定しました!

### 〈浅間パノラマ通り〉

浅間山の眺望が素晴らしい発地地区の魅力を表した路線にふさわしい道路愛称となりました。

## 軽井沢ウインターフェスティバル 2019 ~ホワイトファンタジー~

〈軽井沢・冬ものがたり〉

11月23日(金)

☆オープニングマルシェ(軽井沢本通り)

☆オープニングHANABI

12月15日(土)

☆軽井沢クリスマスマルシェ(恵みシャレー軽井沢)

〈軽井沢ウエディング協会〉

12月1、2、8、9、15、25日

♡クリスマスキャンドルタウン

2019年1月13、19、26日/2月10、23日

♡軽井沢ウエディング合同ブライダルバスツアー

【軽井沢ウエディング協会ホームページ】

<http://wedding.karuizawa-kankokyokai.jp/>



▲ワンちゃんとの楽しいイベント企画中!!

▲マルシェ出展者募集!!

各イベント詳細は決まり次第HPにてお知らせします

<https://karuizawamonogatari.jp/>



軽井沢観光協会 賛助会員

**DELiCiA 軽井沢店**  
デリシア

北佐久郡軽井沢町軽井沢野原1323-1002(国道18号線沿い-JR軽井沢駅近く)  
営業時間9:00~23:00(年中無休) TEL.0267-42-0505

**夜の11時  
まで営業中**

デリシア軽井沢店は「安全・安心」「地元産」「楽しいお買物」にこだわり、お客様の期待に応え続けられるお店を目指してまいります。皆様のご来店を従業員一同心よりお待ちしております。